

e-ビーフNEWS 北の牧場から

January 2025

十勝は真白なお正月

大晦日に振った雪は10cm積もりやっとなり根雪になりました。今までの茶色の世界から一変、白衣をまとい全てを覆い隠して真白になりました。やっとなり来たかとちょっと落ち着きますね。ホワイトクリスマスには間に合わなかったけれど、ギリギリお正月に間に合いました。十勝を囲む日高山脈から裾つなりの大地が真っ白です。気温も一段と下がり、日中でも氷点下-真冬日が続いています。冬至を過ぎて反転、お日様が長くなるのと裏腹に気温はまだまだ下がります。昨日のマイナス15℃。厳しい寒さです。今年の初日の出は、大地から真っ赤なお日様が上がってきました。

牧場の朝に仕事も、牛たちの飲む水槽の解凍給水から始まります。止水栓を開けて凍った水槽にジャー。元気に水が出てよかった。次に飼槽の掃除、自家産のデントコーンがおいしいのか完食。1頭に15kgも与えてもペロリ。どこまで食べるのか？飼料を混ぜるのも力はいります。カルビーポテト残滓の発酵飼料は、ガンガン。岩のようです。タイヤショベルのバケツで崩しながら与えます。牛たちは、顔中の霜を付けてもモクモク食べています。おいしいお肉になってくれよと、今年も祈りながら給与しています。



活動のお知らせ

12月23日 環境リサイクル肉牛協議会 事務局会議 シンポジウム反省、次年度に向けて

NEWSばかり読み

- 厚労省 農機機種別死亡事故でSSが危険度トップ 12/2:農薬散布機になにが
- 農水省 1~10月輸出食品過去最高 緑茶、サツマイモ好調 10月単月
- 牛肉減 香港需要減12/4:気になる現象
- 消費者庁 フードバンクの認証制度を創設方針 12/5:規制かフードロス消化抑制
- 11月和牛子牛相場反転上昇 肥育農家マルキン発動で導入意欲 12/5:
- ユネスコ無形文化遺産に日本の伝統的酒造り登録12/6:活性化期待
- エンゲル係数1~10月30% 石油ショック並みに上昇12/7:購買力減に
- ランピースキン病 熊本県でも発生2県20農場で12/10:
- 滋賀県竜王町とダイハツ 牛ふんでバイオガスプラント稼働 12/10:農工協業
- ノーベル平和賞 被団協に授与12/11:永年がんばって
- 子ども食堂が1万カ所超す 公立中学数以上12/12:必要
- ランピースキン病ワクチン接種県の牛肉 米国向け輸出停止12/12:拡散危機
- 野菜の高値が長期化 主要14品6割高1ヶ月続くと12/13:肉の需要に影響
- 宮城県都築市 牛ETで三つ子誕生 世界的にまれ12/13:可能性
- 農水省 酪農補助事業で生乳需給調整を利用条件に 12/14:規制の正当化
- コシヒカリコメ最大銘柄の検査数量1割減 業者間取引急騰 12/16:高騰要因
- 軽トラ輸出 昨対10倍 欧米で農業現場に12/17:貴重
- 島根県吉賀町 持続可能農業実現PRでトラクター行進 12/19:大したもんだ

- 観光庁 11月訪日外客318万人累計で3200万人過去最高更新 12/19:
- JA全農 1~3月配合飼料2750円上げトウモロコシ相場、円安 12/20:影響
- 農水省 地球温暖化対策計画で畜産目標提示 12/20:よりあった良い施策を
- スイス 搾乳ロボットサイバー攻撃被害発生 12/21:自動運転などリスク回避は
- コメ相場11月最高値を更新 集荷過熱で不足感 12/21:異常もほどほどに
- 補正予算に共同利用施設の老朽化施設の再編助成12/23:個別施設も
- キャベツの最高値を更新 平年値の4倍 12/24:千切りキャベツがなくなる
- 農水省 農業産出額9.5兆円昨対5.5%増 過去20年で最大 12/25:伸びる
- 政府 加工乳補給金23銭上げ12/25:えっそれだけ
- 農水省 農水予算0.1%増2.3兆円12/26:国民食守る予算これでいいの
- 気象庁 24年気温海面水温が過去最高 最も異常な暑い年12/26:無策
- 財務省データ コメ輸出24年1~11月 初の100億円台 12/27:品質の強み
- 農水省 フラグシップ輸出産地にホクレンコンソーシアム認定 12/27:旗振れるか
- 2023年農業産出ランキング 北海道肉牛でも首位 鹿児島抜く 12/30:全共に弾み
- 鳥インフル 茨城で発生 今季最大の108万羽12/30:拡大懸念

東京直近NEWS(12/29 Shi-REPORT)

ホルス

市況相場は年末対応により上げ基調。産地相対相場@1150前後と上げ基調。素牛相場も上昇基調、肥育コストも下げるものなく、生産者も再生産萎縮しい状況になりつつある。年内はロイン、カタ系パーツ中心に切落しもラストまで引合い強い状況継続。冷凍アイテムも同様に各社在庫無しの情報、年内余剰発生もなく完売しており年始早々は不足感強いのか。次年度、頭数の減頭予測から数量調整や価格条件改定の動きが活発化。

経産牛

経産牛北海道内は出回り頭数の大幅減はあまり感じられないが、本州の減少傾向は非常に強い。道内から生体輸送検討も輸送量の大幅値上げからコスト合わず、本州は不足感強い。酪農家の離農も加速している情報あり、年内での離農者のうわさも多い。北海道での生産一極化が進む気配強い。相場は不足感強く高値維持しており、ガリ枝が割高感強い。販売は時期的にやや一服感強く、チルド販売はやや停滞しており産地は冷凍在庫確保の動きか。挽材は慢性的な不足感が強まっており、産地も在庫逼迫から余裕なくコスト上昇で価格改定の動きが多い。次年度以降も減頭予測から不足感は否めない。

